

**親**子で料理をしながら、食について学んでもらおうとヘルスマイトの会が、2月18日洞爺総合センターで、親子食育料理教室を開きました。14人の親子連れが参加し、同会の会員9人から指導を受けながら、仲良く料理作りを楽しみました。

当日のメニューは、簡単で家でもいっしょにできるものを考えて、肉巻きおにぎり、コーンスープ、シャキッとサラダ、かんたんチーズケーキの4品。

ベテラン主婦のみなさんから包丁の使い方などの説明をうけ、調理開始。子どもたちは失敗しないよう集中して、野菜や肉などを切ったり、炒めたりして料理を完成させました。



料理づくりを楽しむ親子ら

## 親子で楽しく料理に挑戦 ヘルスマイトの会の食育料理教室

## 有珠山等の地形を知る ビジターセンターで立体地図づくり

**有**珠山の形、洞爺湖の深さを、立体模型を作って見ている立体地図づくりが、洞爺湖ビジターセンターの主催で2月18日開かれ、洞爺湖、有珠山、羊蹄山の地図づくりに挑戦しました。

火山などの地形を分かり易く知る方法として発案。ポリスチレン製の弁当パックのふた1個に等高線1本をサインペンで書き写し、各等高線分を重ねていくと、立体地図が完成する仕組みです。参加した児童は、線をなぞる楽しさと



慎重に等高線をなぞる児童

ただ重ねるだけで立体に見える地図の不思議さに驚きの表情を浮かべていました。

## 地域が支えるお年寄り 介護予防の講演会



地域での介護予防について話を聞く参加者

**高**齢化の中で、地域でどうお年寄りを支えていくかを考

える介護予防講演会（洞爺湖町・北海道主催）が、2月23日役場防災研修ホールで開かれ、民生委員や自治会役員など関係者約150人が参加しました。

北星学園大学社会福祉学部杉岡直人教授の講演や医療、家族、ボランティアの各立場からの実践発表が行われました。

それをふまえた7~8人のグループに分かれての交流会では、高齢や認知症になっても洞爺湖町で住み続けるためには何が必要なのか、活発な意見がだされました。

**製**品安全セミナー（経済産業省、全国地域婦人団体連絡協議会、洞爺湖ウイメンズネットワーク主催）が、2月24日役場防災研修ホールで開かれ、約50人が参加して、商品の安全点検や事故防止について学びました。

同セミナーでは、経済産業省白木茜氏、製品評価技術基盤機構の三好英樹氏、日本ガス石油機器工業会恒川勝己氏がそれぞれ点検制度や事故の事例について講演。

昨年の秋の同ウイメンズネットワークのアンケート調査でも、「自転車で事故になりかけた」「ポータブルストーブでのトラブル」などが報告されていて、身近な生活の中での安全対策について真剣に耳を傾けていました。



製品事故の防止対策を学ぶ参加者

## 製品の事故防止を学ぶ 安全セミナー

まちのわだい